

## マンツーマンディフェンスについて（報告）

講師 トーステン・ロイブル氏

- 日本人選手にチャンス！
  - ・ミニのレベル高い、ミニ・中学の競技人口多い→日本が強くならないのはおかしい
  - ・ゾーンDF禁止（U15まで）→動ける選手、DF意識のある選手の育成
  - ・勝利の条件→最終的には強い1対1ゲーム
  - ・国際的に点のとれる選手→ファンダメンタルをしっかりと（動ける、DFできる、1対1できる選手を増やす）
  - ・ゲームを楽しませる→想像力がつく（楽しんでいないからバーンアウト）

- マンツーマンディフェンスとは

### マッチアップ

- ・ハーフマンツーマンの場合は、3Pエリアぐらいから、
- ・2線はダイナイまたはヘルプポジション、3線はヘルプポジション（ヘルプサイドでは、自分のマークマンとボールを見ている）
- ・アイコンタクト、手のコンタクト（指さし）、言葉のサイン（ナンバーチェック）ができています

### プレスDF

- ・バックコートでのスローインの時からマッチアップしておく
- ・ボールがコートの中に入ると、ボールマンに対するダブルチームOK→解除と同時にマッチアップする

### オンボールDF

- ・ボールマンとの距離はだいたい1.5m（1歩半）

### オフボールDF

- ・ドリブル移動と同時にDFも動く
- ・パス移動と同時にDFも動く
- ・自分のマークマンが動くと自分も動く、制限区域の中でじっとしておくことがないように・・・
  - 【違反】ポジションだけ守る（オフェンスもみんなが攻める意識をもたせましょう）
  - 【違反】ボールを持っていない選手へのダブルチームは不正である

### ヘルプローテーション

- ・1線がぬかれたらヘルプができる→ヘルプリカバリーOK、ヘルプローテーションOK（ヘルプ終了後すぐにマッチアップしなおす）

### スイッチング

- ・スクリーンなどに対するDFは、ファイトオーバーでもスイッチングでもよい。

- その他
  - ・DVD、説明書作成中（6月ごろ）
  - ・判定員（コミッショナー）をつける方向で調整中（全ミニ、四国ミニ）
- 革命
  - ・若い世代の選手のコーチから創める（日本代表のコーチではない）
  - ・勝ちにこだわるのではなくて、育成にこだわる